

Cisco Monitor Manager 1.1.2 : Cisco Monitor Director のエージェント

製品概要

Cisco® Monitor Manager 1.1.2 は、250 台の IP フォンを使用する中堅・中小企業のニーズに焦点を当てて設計された包括的な管理アプリケーションです。シスコのルータ、スイッチ、アクセス ポイント、IP フォン、シスコ ユニファイド コミュニケーション アプリケーションなどのネットワーク デバイスの主要なデバイス パラメータを監視します。また、ネットワーク内にある他ベンダー製の SMNP (Simple Network Management Protocol) 対応デバイスおよび IP アドレス指定可能デバイスもサポートします。Cisco Monitor Manager は 24 時間体制でネットワークを監視し、管理対象デバイスに対して定期的にポーリングを行い、イベントリとパフォーマンス モニタリング データを収集します。

アプリケーション

Cisco Monitor Manager には、中堅・中小企業が自社のネットワーク管理のためのネットワーク モニタリング アプリケーションとして使用する方法と、サービス プロバイダーがマネージド サービスに組み込んで使用する方法があります。これにより、中堅・中小企業は柔軟に運用することができ、マネージド サービス プロバイダー (MSP) は収益の機会が得られます。

自己管理型ソリューション

Cisco Monitor Manager を導入することで、中堅・中小企業におけるネットワークの管理と監視を自社で行うことができます。Cisco Monitor Manager はスタンドアロン モードで動作し、リモート オフィスを含めた中堅・中小企業のネットワーク全体をリモートで検出、監視し、プロアクティブに管理できます。必要に応じてレポートと警告が生成され、ネットワークの健全性を 24 時間体制で把握できます。また、高度なコンフィギュレーションを実行するために必要な場合は、シスコ デバイス マネージャを起動することもできます。

Cisco Monitor Manager は、ネットワーク インフラストラクチャ全体とシスコ ユニファイド コミュニケーション システムの自動検出を行い、リアルタイムの物理ビュー、サービス レベルの詳細、およびネットワーク内の各要素の現在の運用ステータスを示します。図 1 を参照してください。

マネージド サービス ソリューション

シスコの VAR (付加価値再販業者) MSP は、Cisco Monitor Manager を SMB 顧客のサイトに展開できます (図 2)。このモデルにより、VAR MSP は SMB 顧客に対して経済的な 24 時間体制のネットワーク管理ソリューションを提供でき、顧客はネットワークの問題に煩わされることなく本業に集中できるようになります。Cisco Monitor Manager は Cisco Monitor Director のエージェントとして機能し、顧客のネットワークから関連するネットワーク情報や syslog を収集し、セキュリティで保護された信頼性の高い通信チャネルを経由して MSP のネットワーク オペレーション センターの [Cisco Monitor Director](#) サーバに選択的に転送します。SMB 顧客のネットワークを詳細に把握できるので、顧客の業務に支障が出る前にネットワークの問題を予測できます。Cisco Monitor Director ソリューションの詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/cmd/> を参照してください。

図 1 小規模企業ネットワーク内の Cisco Monitor Manager

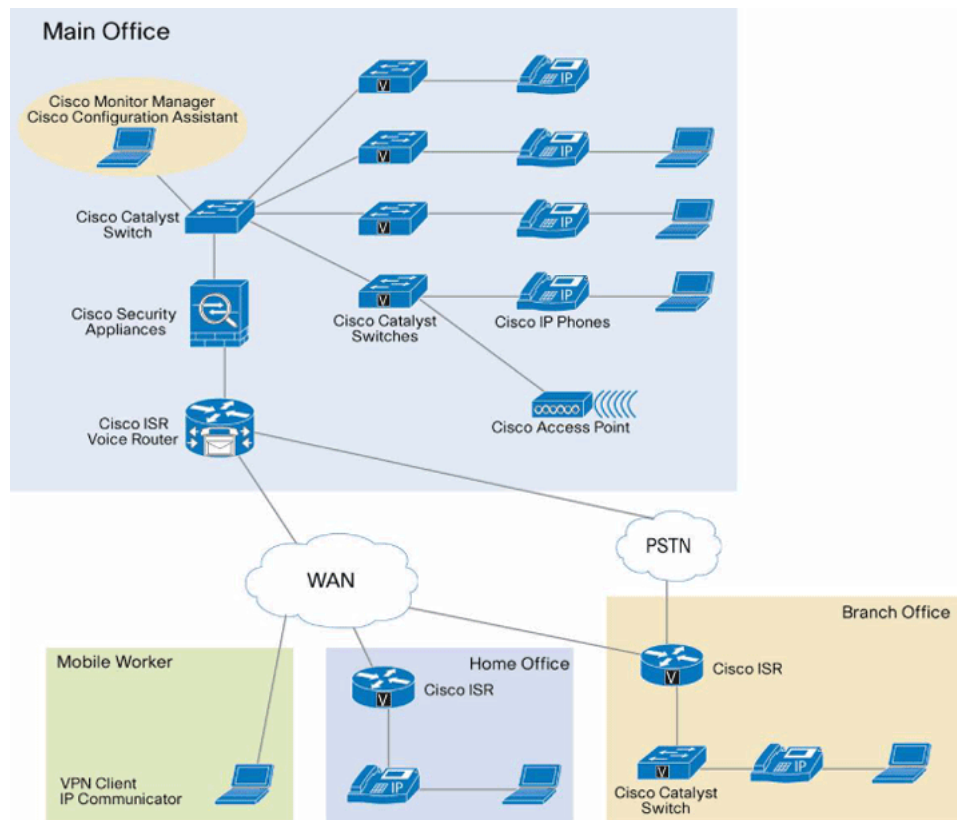


図 2 Cisco Monitor Manager と Cisco Monitor Director



主な機能と利点

Cisco Monitor Manager の主な機能と利点を次に示します。

- 音声およびデータ ネットワークの検出およびトポロジ
- ネットワーク全体でのインベントリ収集とレポート作成
- Cisco Unified IP テレフォニー モニタリング
- シスコ デバイス、複数ベンダーの SNMP 対応デバイス、および ICMP (Internet Control Message Protocol) ping ベース モニタリングのサポート

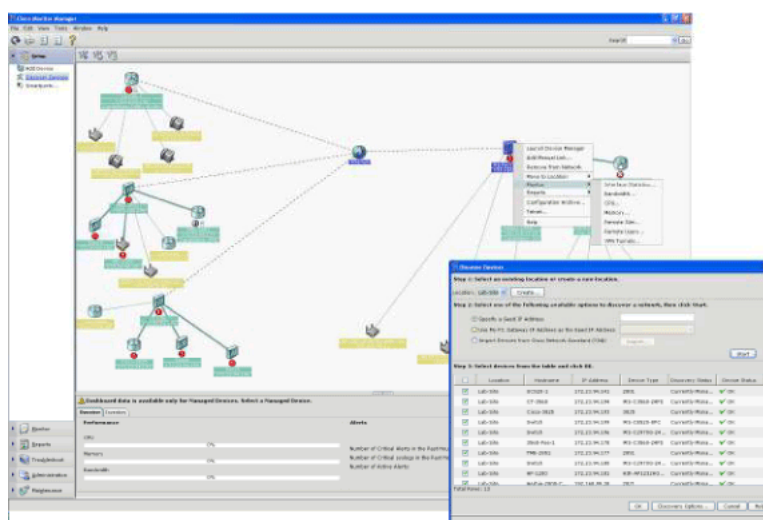
- MSP アップグレードにおけるエンドユーザ モニタリングの主要コンポーネント
- SNMP および安全性と信頼性の高い HTTPS ベースの通信
- シスコ デバイスのパフォーマンス モニタリング
- インターフェイスのステータスとトラフィック モニタリング
- リアルタイムの警告と通知
- レポート
- コンフィギュレーション アーカイブ
- トラブルシューティング ツール

音声およびデータ ネットワークの検出およびトポロジ

Cisco Monitor Manager を使用すると、すべてのロケーションとリモート オフィスのネットワークの完全なトポロジを検出して表示できます。Cisco Monitor Manager はシード デバイス、SNMP スウィープ、ICMP ping、および Cisco Configuration Assistant インポートベースの検出に対応しています。この機能は、Cisco Discovery Protocol と ARP (Address Resolution Protocol) のネイバー データを使用して、基礎となるデータおよび音声ネットワーク全体を検出し、結果をわかりやすいグラフィカル表示にします。ネットワーク内のすべての管理対象ネットワーク要素について、ネットワーク レベルおよびデバイス レベルのステータス、障害、インベントリ、接続性、および管理性に関する情報表示がリアルタイムで自動更新されます。定期的なトポロジの再検出が行われ、ネットワークに新たなデバイスが見つかったら、警告が生成されます。また、トポロジのグラフィカル表示はナビゲーションの中心であり、さまざまな状況依存型の右クリック メニューを起動できます。この右クリック メニューを使用して、詳細なステータスを取得したり、リアルタイムのパフォーマンス データ、レポート、および警告やそれらの履歴を取得したり、詳細なコンフィギュレーションを行うデバイス マネージャを起動したりすることができます。図 3 を参照してください。

メイン オフィスに 1 つの Cisco Monitor Manager を導入するだけで、メイン オフィスだけでなくすべてのリモート オフィスの監視を強化できます。

図 3 Cisco Monitor Manager ネットワーク トポロジ



(Skinny Client Control Protocol) ベース両方の IP フォンに対応しています。また、ボイスメール モニタリングではメールボックス サイズが追跡され、設定されたしきい値の上限に基づいて警告が生成されます。

SNMP および HTTPS ベースの通信

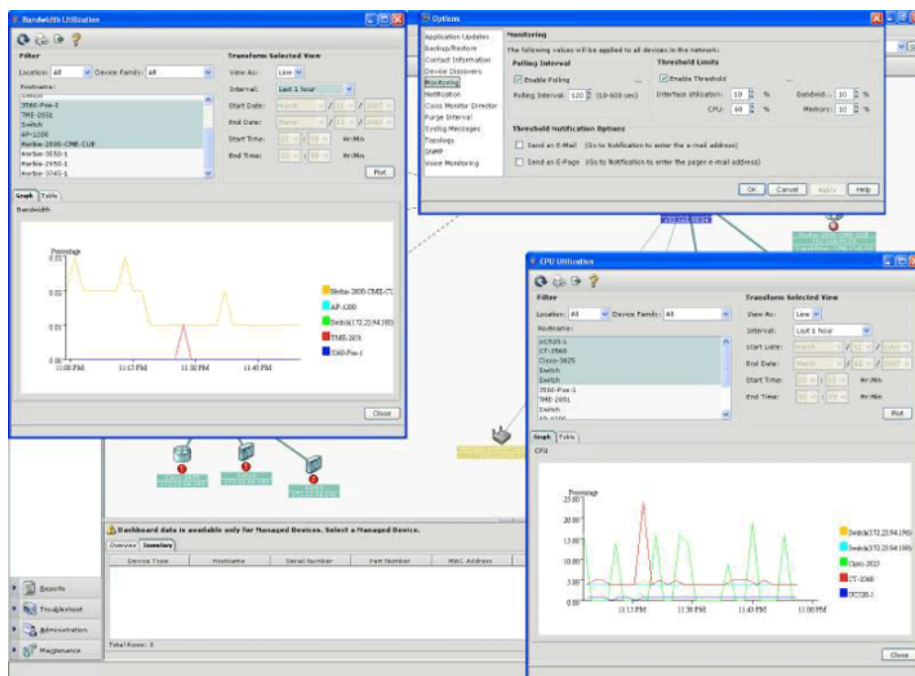
Cisco Monitor Manager では、コンフィギュレーションとパフォーマンス情報を取得し、ネットワーク内のネットワーク要素を管理するために、SNMP が使用されます。また、シスコ セキュリティ アプライアンスや一部のアプリケーション機能を管理するために、安全性と信頼性の高い HTTPS プロトコルが使用されます。さらに、SNMP 非対応デバイスを管理するために ICMP ping が使用されます。管理対象シスコ デバイスが HTTPS プロトコルに対応していない場合は、プロトコル フォールバックにより HTTP が使用されます。

MSP の展開における Cisco Monitor Manager では、Cisco Monitor Director と定期的に通信する際に、暗号化された SSL (Secure Sockets Layer) 接続が使用されます。Cisco Monitor Manager の各インスタンスの認証には、一意の ID 番号とライセンス キーが使用されます。セキュリティ強化のために、SSL ポートは Cisco Monitor Manager と Cisco Monitor Director の両方で設定できます。

シスコ デバイスのパフォーマンス モニタリング

Cisco Monitor Manager は、CPU、メモリ、到達可能性、アベイラビリティ、PSTN (公衆電話交換網) トランクの使用状況などの重要なデバイス パラメータを監視するための GUI を備えています。これらのパラメータの情報を得るために、デバイスに対して定期的にポーリングが行われます。得られた情報は、内部のデータベースに格納され、リアルタイムのグラフ化、履歴分析、およびレポート作成に使用されます。また、これらのパラメータのしきい値を設定して、しきい値を超えた場合に通知することもできます。警告が生成され、電子メールまたはポケットベル メッセージによって送信されます。オプションで、Cisco Monitor Director サーバに送信することもできます。図 5 を参照してください。

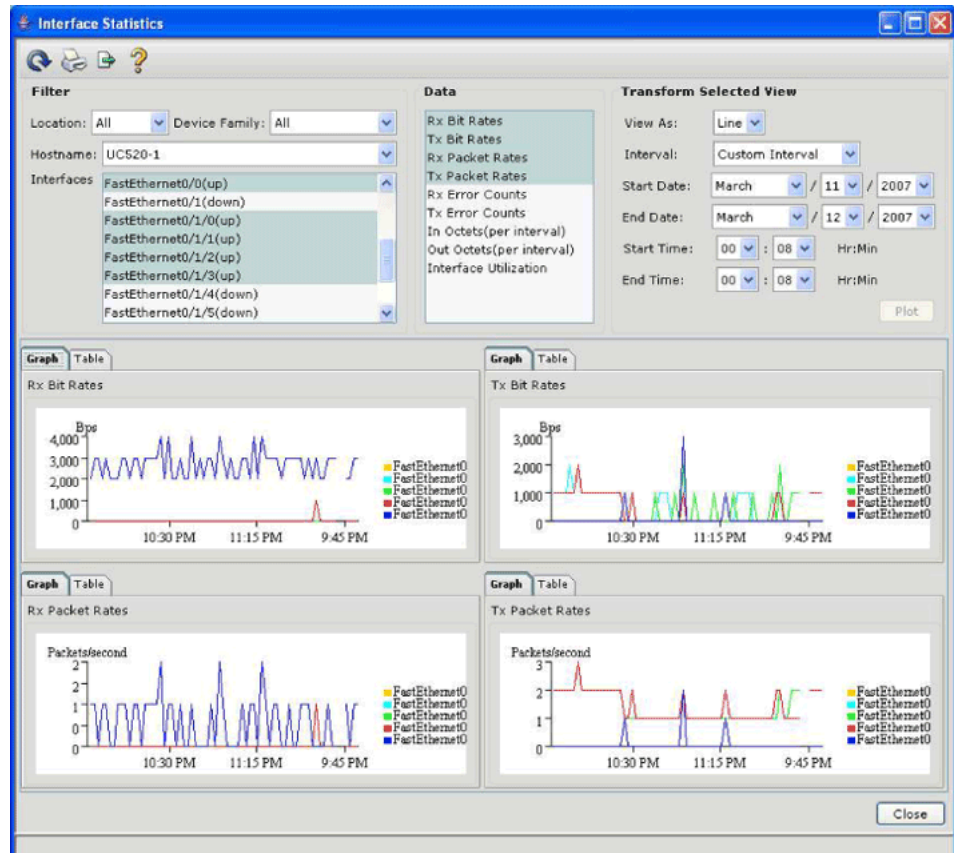
図 5 Cisco Monitor Manager デバイス パフォーマンス モニタリング



インターフェイスのステータスおよびトラフィックのモニタリング

Cisco Monitor Manager では、パケット レート、インターフェイス ステータス、トラフィック カウンタ、エラー、インターフェイスの使用状況など、トラフィック ステータスおよび重要なインターフェイス パラメータが監視されます。これらのパラメータの情報を得るために、デバイスに対して定期的にポーリングが行われます。得られた情報は内部のデータベースに格納されます。また、監視対象のパラメータのしきい値を設定して、しきい値を超えた場合に通知することもできます。図 6 を参照してください。

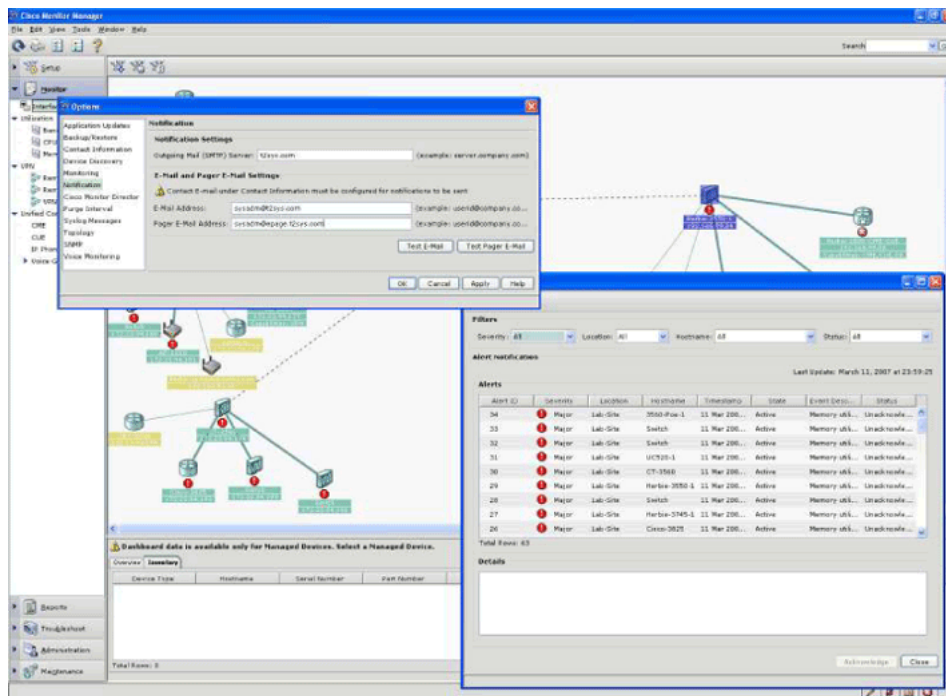
図 6 Cisco Monitor Manager インターフェイス モニタリング



リアルタイムの警告と通知

Cisco Monitor Manager では、すべての管理対象デバイスから syslog が収集され、ユーザに問題の影響が及ぶ前に対処できるように、リアルタイムの障害モニタリング情報が表示されます。緊急事態、警告、および危険な syslog は警告通知に変換され、電子メールおよびページのメッセージによってネットワーク管理者に通知されます。わかりやすい図やグラフの表示に加えて、モニタリング データとユーザ定義のしきい値が比較され、しきい値を超えた場合はネットワーク管理者に通知されます。また、サービス ステータスに基づいてシスコ ユニファイド コミュニケーション デバイスに関する警告も出されます。警告は内部のデータベースに格納され、履歴レポートの作成に使用されます。図 7 を参照してください。

図 7 Cisco Monitor Manager の通知と警告

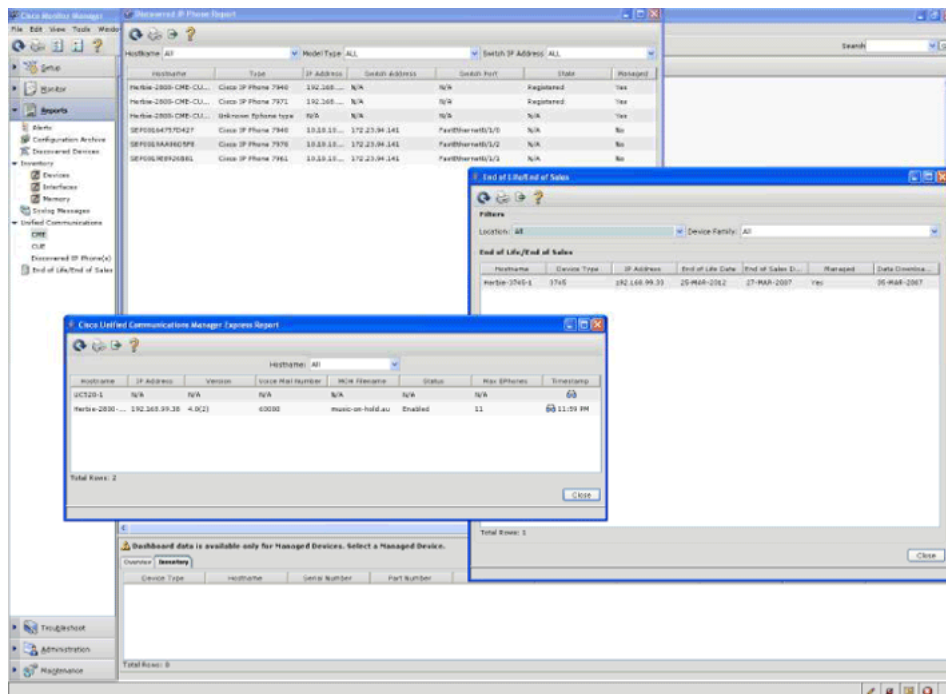


レポート

Cisco Monitor Manager には、わかりやすく表示が容易で印刷しやすい、詳細レポート機能が用意されています。このグラフィカルなレポートからのデータは、サイト、デバイスファミリー、または特定の管理対象デバイスでフィルタ処理できます。Cisco Monitor Manager では、次に示すネットワーク規模の使いやすいグラフィカルレポートが用意されています。図 8 を参照してください。

- 警告レポート
- IP Phone レポート、Cisco Unified Communications Manager Express、および Cisco Unity Express インベントリ レポート
- PSTN トランク使用状況レポート
- デバイス パフォーマンス レポート
- syslog レポート
- 販売終了/サポート終了レポート
- デバイス インベントリ レポート
- コンフィギュレーション アーカイブ レポート
- 検出されたデバイス レポート
- デバイス アベイラビリティ レポート

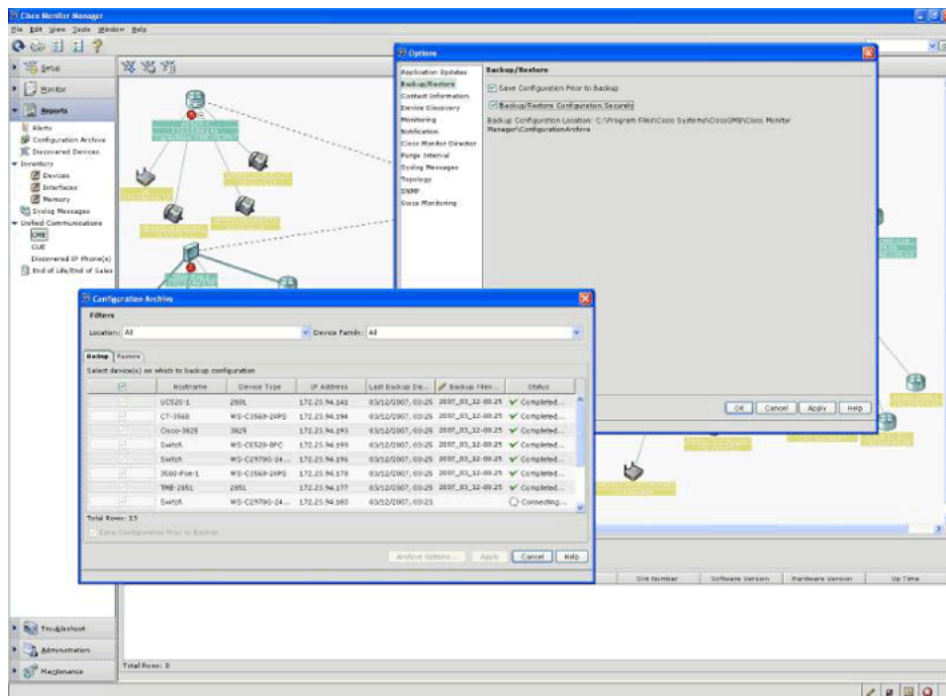
図 8 Cisco Monitor Manager のレポート



コンフィギュレーション アーカイブ

Cisco Monitor Manager の GUI を使用して、ネットワークにあるすべての管理対象シスコ デバイスの起動コンフィギュレーション ファイルのバックアップと復元をオンデマンドで実行できます。また、コンフィギュレーション アーカイブ機能は、ネットワーク内のすべての管理対象 Cisco Catalyst® スイッチに対して、VLAN データベースのバックアップと復元をサポートしています。手動バックアップを実行する前に、この機能を使用して、実行中のコンフィギュレーションを起動コンフィギュレーションに保存することもできます。図 9 を参照してください。

図 9 Cisco Monitor Manager のコンフィギュレーション アーカイブ



トラブルシューティング ツール

Cisco Monitor Manager には、traceroute、ping、ポート検索などの有効なトラブルシューティング ツールがあります。ポート検索機能を使用して MAC アドレスや IP アドレスを指定することで、ネットワーク上の Cisco IP Phone、アクセス ポイント、ワークステーションなどのエンド ステーションを見つけることができます。traceroute や ping を使用すると、ネットワークの接続に関する状態をデバッグしたり、場所を特定したりすることができます。

デバイス サポート レベル

表 1 に、機能とデバイス サポート レベルの対応状況を示します。

表 1. デバイス サポート レベル

機能	プレミアム Cisco	汎用 SNMP デバイス	基本的な ping のみ
デバイス検出	自動	自動	手動
インベントリ	デバイス、カード、インターフェイス	デバイス、インターフェイス	デバイス
ICMP ping ベースのデバイス モニタリング：アップ/ダウン、応答時間、パケット損失	○	○	○
syslog ベースの警告とレポート作成	○	○	○
電子メール、ポケットベル、トラブルチケット発行システムによるリアルタイムの警告と通知	○	○	○
内部データベースでの監視対象データの永続的格納	○	○	○

機能	プレミアム Cisco	汎用 SNMP デバイス	基本的な ping のみ
モニタリングに使用するプロトコル	SNMP、HTTP、HTTPS、ICMP	SNMP、ICMP	ICMP
システムの詳細情報：ホスト名、システムのアップタイム、デバイス モデル、デバイス タイプ、ベンダー	○	○	
インターフェイス利用状況のモニタリング：帯域幅、送受信の利用状況	○	○	
インターフェイス詳細情報のモニタリング：送受信ビットレート、オクテット、パケット レート、エラー カウンタ	○		
リンク検出/トポロジ	○		
シスコ デバイス マネージャの起動：Cisco Router and Security Device Manager、Cisco Adaptive Security Device Manager、アクセス ポイント Web インターフェイス	○		
デバイス パフォーマンス モニタリング：CPU、メモリ、帯域幅の利用状況	○		
コンフィギュレーションのバックアップと復元	○		
トラブルシューティング ツール：ping、traceroute、ポート 検索	○		
Cisco VoIP (Voice-over-IP) モニタリング	○		
販売終了およびサポート終了レポート	○		
VPN ピアの検出およびモニタリング	○		

機能と利点

表 2 に、Cisco Monitor Manager の機能と利点を示します。

表 2. 機能と利点

機能	利点
使いやすく初期投資が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 中堅・中小企業に特化した設計 直感的で操作が容易 低額な導入コスト
Cisco Discovery Protocol および ARP ベースのネットワーク検出と完全なトポロジ	<ul style="list-style-type: none"> データおよびシスコ ユニファイド コミュニケーション音声ネットワーク全体を検出 SNMP 対応および IP アドレス指定可能な複数ベンダーのデバイスを検出 複数の顧客のロケーションを扱うグラフィカルなトポロジ ビューにより、トポロジと相互接続を総合的に扱い、ネットワーク全体を表示 ネットワークレベルおよびデバイスレベルの障害情報、デバイスの接続状況、および管理性の情報を表示
シスコ デバイス、SNMP 対応デバイス、および ICMP ping ベース モニタリングのサポート	<ul style="list-style-type: none"> 対象シスコ デバイスに対するプレミアム サポート (表 4) 複数ベンダーの SNMP 対応デバイスに対する汎用的な SNMP ベース管理 SNMP 非対応デバイスに対する基本的なモニタリング
デバイス システム パラメータ コンフィギュレーション	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なシステム パラメータのコンフィギュレーションが容易。データと音声の詳細なコンフィギュレーションには Cisco Configuration Assistant を使用

機能	利点
管理対象デバイスとの SNMP および安全性と信頼性の高いチャネル	<ul style="list-style-type: none"> SNMP を使用してコンフィギュレーションとパフォーマンス情報を取得し、ネットワーク要素を管理 HTTPS を使用してシスコ セキュリティ アプライアンスやいくつかのアプリケーション機能を管理 ICMP ping を使用して SNMP 非対応デバイスを管理
ネットワーク全体でのインベントリ収集とレポート作成	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク内のすべての管理対象デバイスについて、カードとインターフェイスの詳細を含む完全なデバイス インベントリ情報を提供 ネットワーク内のデバイスやカードの追跡に使用できるインベントリ レポートを提供
組み込み型のトラブルシューティングツール	<ul style="list-style-type: none"> traceroute や ping などのトラブルシューティング ツールを提供することで、ネットワークの問題のデバッグを促進
IP テレフォニーのモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified IP テレフォニー要素の検出、インベントリ作成、およびモニタリング Cisco Unified IP テレフォニー要素の接続や登録ステータスに関するリアルタイムの情報を提供 サービス ステータスに基づいた Cisco Unified IP テレフォニー要素に関する警告を生成 ボイスメールのメールボックスのモニタリングにより、メールボックスのサイズを追跡し、設定されたしきい値の上限に基づいて警告を生成 PSTN トランクおよび音声ポートの使用状況を監視
パフォーマンスおよびインターフェイストラフィックのモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 図やグラフの出力オプションを指定して、リアルタイムの重要なモニタリング情報を収集、格納、および表示 モニタリング データとユーザ定義のしきい値を比較して、しきい値を超えた場合は警告を生成 インターフェイス トラフィック統計を監視して、インターフェイスの使用状況を表示 すべての管理対象デバイスについて CPU とメモリの使用状況を監視
電子メールとポケットベルによるリアルタイムの警告と通知	<ul style="list-style-type: none"> 検出、syslog、またはモニタリング警告があった場合に、それを通知する電子メールまたはポケットベル メッセージを送信
利用形態	<ul style="list-style-type: none"> SMB 管理型ソリューション：スタンドアロン アプリケーションとして機能し、オンサイトでの管理を実施 マネージド ソリューション：Cisco Monitor Director ソリューションのエージェントとして機能
安全性と信頼性の高い通信	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Monitor Director との通信に SSL 接続を使用 設定可能な SSL ポートによるセキュリティ強化
コンフィギュレーション アーカイブ	<ul style="list-style-type: none"> 起動コンフィギュレーション ファイルのバックアップと復元が容易 手動バックアップや定期バックアップの前に、実行中のコンフィギュレーション ファイルを保存可能
販売終了およびサポート終了レポート (指定したシスコ デバイスのみ)	<ul style="list-style-type: none"> 製品の販売終了およびサポート終了レポートを提供し、ネットワーク アップグレード要件を予測
syslog ベースの警告とレポート作成	<ul style="list-style-type: none"> 管理対象デバイスからの syslog メッセージを収集および格納 syslog メッセージの警告とレポートを生成
デバイス マネージャ起動ポイント	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Adaptive Security Device Manager、Cisco Router and Security Device Manager、Cisco PIX[®] Device Manager などのさまざまなシスコ デバイス マネージャの起動をサポート
履歴レポート作成用に監視対象データおよびデバイス クレデンシャルを内部データベースで永続的に格納	<ul style="list-style-type: none"> 内部データベースを使用して、インベントリ、パフォーマンス、および syslog データを格納 履歴データの表示、レポート作成、および分析機能をサポート
VPN ピアの検出およびモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> すべてのロケーションから VPN ピアを検出 VPN トンネルのステータスとトラフィック パラメータを監視

製品仕様とサポート対象デバイス

表 3 に Cisco Monitor Manager の製品仕様を、表 4 にサポートされるデバイス ソフトウェアに関する情報を示します。

表 3. 製品仕様

説明	仕様
スケーラビリティ基準	Medium ライセンス <ul style="list-style-type: none"> デバイス数：最大 70 Cisco Unified IP Phone 数：最大 250 Small ライセンス <ul style="list-style-type: none"> デバイス数：最大 25 Cisco Unified IP Phone 数：最大 48
オペレーティング システム	Windows XP Professional (Service Pack 2)
プロトコル	HTTP/HTTPS、SNMP、Cisco Discovery Pro tocol、ICMP、ARP、TFTP
プロセッサ	Pentium 4 の 1.2 GHz 以上
メモリ	RAM 2 GB 以上
ディスク容量	1 GB 以上

表 4. プレミアム サポート対象のシスコ デバイス

デバイス ファミリ	デバイス	ソフトウェア リリース*
Cisco ワイヤレス デバイス	Cisco Air onet 1100、1200 シリーズ、AIR-LAP521G、AP521、および WLC526	12.2(15)JA 以降
Cisco ルータ	Cisco 830/8 50/870 ルータ、Cisco 1700/18 00/1841/1861 ルータ、Cisco 2600/2800 シリーズ、Cisco 3600/3700/3800 シリーズ、小規模企業向け Cisco Unified Communications 500 シリーズ	12.2(13)ZH 以降
	Cisco SBS 101/106/107/200	12.3(8)YG 以降
Cisco Catalyst スイッチ	Cisco Catalyst 2900XL、2940、2950、2955、2960、2970、3550、3500XL、3560、および 3750 シリーズ、および Catalyst Express 500 シリーズ	12.0(5.1)XU 以降
Cisco ASA および Cisco PIX セキュリティ アプライアンス	Cisco ASA 5505 および 5510 Cisco P IX 501、506、506E、515、および 515E	7.0 以降
Cisco Unified Communications Express	Cisco Unified Communications Manager Express	3.3 以降
	Cisco Unity Express	2.0 以降
Cisco Unified IP Phone	Cisco IP Phone 7900 シリーズ、Cisco 3911 および Cisco 3951 SIP ベース IP Phone	-
Cisco 音声モジュール	<ul style="list-style-type: none"> 音声インターフェイス モジュール：VIC2-2FXS、VIC2-2FXO、VIC2-4FXO、VIC2-2E/M、VIC-4FXS/DID、VIC-2BRI-NT/TE、VVIC2-1MFT-T1/E1、VVIC2-2MFT-T1/E1、VVIC-1MFT-T1、VVIC-2MFT-T1、VVIC-2MFT-T1-DI、VVIC-1MFT-E1、VVIC-2MFT-E1-DI 音声ネットワーク モジュール：NM-HD-1V、NM-HD-2V、NM-HD-2VE、NM-HDA-4FXS、NM-HDV2、NM-HDV2-1T1/E1、NM-HDV2-2T1/E1 音声拡張モジュール：EVM-HD-8FXS/DID、EM-HDA-8FXS、EM-HDA-6FXO、EM-HDA-3FXS/4FXO、EM-4BRI-NT/TE、EM-HDA-8FXS、EM-HDA-4FXO、EM2-HDA-4FXO 	

* デバイス ファミリでサポートされる最小のソフトウェア バージョンです。同じファミリ内のデバイスでも、これ以降のバージョンが必要になる場合があります。

システム要件の詳細は、Cisco Monitor Manager 1.1.2 のクイック スタート ガイド (http://www.cisco.com/en/US/products/ps7244/prod_installation_guides_list.html) を参照してください。

Cisco Monitor Manager のライセンス

Cisco Monitor Manager はライセンス制のアプリケーションです。数量ベースのライセンスと用途ベースのライセンスがあります。

数量ベースのライセンス

- Medium ライセンス : デバイス 70 台以下と Cisco IP Phone 250 台以下
- Small ライセンスデバイス 25 台以下と Cisco IP Phone 48 台以下

用途ベースのライセンス

上記の Medium ライセンスと Small ライセンスのそれぞれに、自己管理型ライセンスと VAR MSP 管理型ライセンスがあります。

- SMB 自己管理型ライセンス : ネットワークを自社で管理する場合の無期限ライセンスです。
- VAR MSP ライセンス : Cisco Monitor Manager を顧客サイトにインストールする場合の年間契約ライセンスです。モニタリング情報を MSP に送信し、MSP のロケーションにある Cisco Monitor Director と連携して顧客のネットワークのリモート管理とプロアクティブなモニタリングを行います。Cisco Monitor Director ソリューションの詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/cmd/> を参照してください。

アップグレード ライセンスを使用すると、監視対象ネットワークを 48 ユーザから 250 ユーザに拡張したり、自己管理型の展開から MSP 管理型の展開に変更したりすることができます。管理型の展開では、Cisco Monitor Director のエージェントとして機能する Cisco Monitor Manager が、そのライセンス タイプと有効期限ステータスを MSP のサイトにある Cisco Monitor Director に送信します。MSP は、ライセンス レポートを作成したり、更新時期が近くなったことを事前に顧客に伝えることができます。

発注情報

Cisco Monitor Manager 1.1.2 は、SMB 向けのスタンドアロン アプリケーションとして提供されます。Cisco Monitor Manager の60 日間限定無償評価版は、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/CiscoMM-crypto> からダウンロードできます。試用期間の終了後も引き続き製品をご利用になる場合は、ライセンスを購入する必要があります。発注の詳細については、オンラインの製品速報を参照してください。Cisco Monitor Manager は、全世界の正規シスコ販売および流通チャネルを通じてご購入いただけます。シスコ製品の購入方法の詳細は、「購入案内」を参照してください。

評価期間後の使用に関する無期限ライセンスの購入については、最寄りのシスコ パートナーまたはリセラーにお問い合わせください。

表 5 に、自己管理型 Cisco Monitor Manager 1.1.2 の発注情報を示します。

表 5. 自己管理型 Cisco Monitor Manager 1.1.2 の発注情報

製品番号	説明
MON-1.1-STD-K9	Cisco Monitor Manager 1.1.2 シングル ソフトウェア、Medium 自己管理型無期限ライセンス
MON-1.1-LTD-K9	Cisco Monitor Manager 1.1.2 シングル ソフトウェア、Small 自己管理型無期限ライセンス
MON-1.1-STD20UP-K9	Cisco Monitor Manager 1.1.2 Small 自己管理型から Medium 自己管理型無期限ライセンスへのアップグレード
DIR-1.1-LMSPUP-K9	Cisco Monitor Director 1.1.2 Small 自己管理型から Small MSP 管理型へのアップグレード
DIR-1.1-SMSPUP-K9	Cisco Monitor Director 1.1.2 Medium 自己管理型から Medium MSP 管理型へのアップグレード

Cisco Monitor Manager のライセンス オプションについては、<http://www.cisco.com/jp/go/sbnm/> の Cisco Monitor Manager の製品資料でも説明しています。

Cisco Monitor Director ソリューションの発注情報および製品番号については、<http://www.cisco.com/jp/go/cmd/> を参照してください。

サービスおよびサポート

シスコとパートナー各社がシスコのライフサイクル サービス アプローチを通じて提供する幅広いエンドツーエンドのサービスおよびサポートは、お客様のネットワークのビジネス上の利点と投資回収率を拡大するお手伝いをしています。このアプローチでは、テクノロジーとネットワークの複雑さに応じて、シスコのテクノロジーを適切に導入および運用し、ネットワークのライフサイクル全体にわたってパフォーマンスを最適化するために必要なアクティビティの、最小限のセットを定義します。

関連情報

Cisco Monitor Manager の詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/sbnm/> を参照してください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
 〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
 お問い合わせ先 (シスコ コンタクト センター)
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>
 0120-092-255 (通話料無料)
 電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00

お問い合わせ先